

2020 年度入試【編入学一般入試】問題

## 小論文

(総合理工学部 建築デザイン学科)

### 注 意

- 1 問題紙は、指示があるまで開いてはならない。
- 2 問題紙 2 ページ，解答用紙 4 枚，下書き用紙 4 枚である。  
指示があってから確認し，解答用紙・下書き用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 解答は，すべて解答用紙の所定のところに記入すること。
- 4 解答用紙・下書き用紙は，持ち帰ってはいけない。
- 5 問題紙は，持ち帰ること。



【問題1】

資料図1は、島根県の人口やその構成割合に関する推移を示したものである。

まず第1として島根県の人口における「人口総数」、「15歳未満が占める割合」と「65歳以上が占める割合」の推移を考察せよ。加えて、こうした人口推移の結果を踏まえて、第2として今後の島根県内の都市づくりや建物づくりの中で必要となる工夫について自分の考えを述べよ。なお、第1と第2を合わせて600字以内で述べること。また、それぞれの書き出しに「第1」「第2」を明記すること。

年	人口（人）					人口構成割合（％）			
	総数	15歳未満	15～64歳	65歳以上	内75歳以上	15歳未満	15～64歳	65歳以上	内75歳以上
T9年(1920)	714,712	237,142	420,933	56,637	15,877	33.2	58.9	7.9	2.2
T14年(1925)	722,402	246,702	419,113	56,587	16,266	34.2	58.0	7.8	2.3
S5年(1930)	739,507	255,464	430,112	53,931	16,422	34.5	58.2	7.3	2.2
S10年(1935)	747,119	265,195	427,505	54,419	16,967	35.5	57.2	7.3	2.3
S15年(1940)	740,817	260,566	425,244	55,005	15,602	35.2	57.4	7.4	2.1
S22年(1947)	894,267	312,326	521,015	60,926	16,326	34.9	58.3	6.8	1.8
S25年(1950)	912,551	323,864	523,687	64,981	19,325	35.5	57.4	7.1	2.1
S30年(1955)	929,066	316,171	542,730	70,156	23,351	34.0	58.4	7.6	2.5
S35年(1960)	888,886	282,596	531,573	74,717	26,438	31.8	59.8	8.4	3.0
S40年(1965)	821,620	218,403	523,286	79,931	27,832	26.6	63.7	9.7	3.4
S45年(1970)	773,575	178,457	508,173	86,945	30,306	23.1	65.7	11.2	3.9
S50年(1975)	768,886	168,072	504,941	95,831	35,535	21.9	65.7	12.5	4.6
S55年(1980)	784,795	167,310	509,938	107,479	41,729	21.3	65.0	13.7	5.3
S60年(1985)	794,629	162,817	510,054	121,744	49,559	20.5	64.2	15.3	6.2
H2年(1990)	781,021	143,884	494,253	142,061	59,900	18.4	63.3	18.2	7.7
H7年(1995)	771,441	126,403	477,919	167,040	70,470	16.4	62.0	21.7	9.1
H12年(2000)	761,503	111,982	460,103	189,031	85,685	14.7	60.4	24.8	11.3
H17年(2005)	742,223	100,542	439,471	201,103	104,864	13.6	59.3	27.1	14.1
H22年(2010)	717,397	92,218	414,153	207,398	118,736	12.9	58.0	29.1	16.6
H27年(2015)	694,352	86,056	376,877	222,648	121,398	12.6	55.0	32.5	17.7
H28年(2016)	689,817	85,211	370,441	225,394	122,046	12.5	54.4	33.1	17.9
H29年(2017)	684,668	84,293	364,623	226,981	122,679	12.5	53.9	33.6	18.2

注) 図中の T は大正, S は昭和, H は平成を示す。

資料図1 島根県の人口構成の推移  
(総務省国勢調査結果より抜粋作成)



【問題2】

資料図2は、大規模な木造建築物を含む事例を示したものである。

まず第1として一般的な木造建築物に共通する利点と弱点を簡潔に説明せよ。加えて、第2として大規模な木造建築物を成立させるための構造的な工夫について自分の考えを述べよ。なお、第1と第2を合わせて600字以内で述べること。また、それぞれの書き出しに「第1」「第2」を明記すること。

公共建築物における木材利用の取組事例

国の施設



国土交通省：国営常陸海浜公園 自然観察施設棟  
(茨城県ひたちなか市)



最高裁判所：広島高裁松江支部・松江地家簡裁庁舎  
(内装木質化) (鳥取県松江)

都道府県の施設

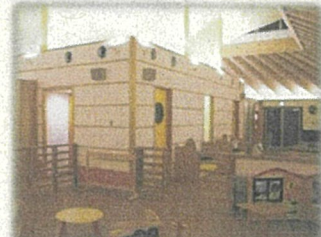


東部地域振興ふれあい拠点施設「ふれあいキューブ」  
(1～4階S造、5～6階木造) (埼玉県春日部市)



武田の社サービスセンター (山梨県甲府市)

市町村の施設



21 乳幼児センター (青森県下北郡東通村)



桧原町庁舎 (高知県高岡郡桧原町)

資料図2 公共建築物における木材利用の取組事例  
(農林水産省HP：平成28年6月 公共建築物等木造利用促進法のあらまし から)